

1. 基本方針策定の趣旨

第2期奈良県教育振興大綱(令和3年3月策定)

奈良県教育が目指す方向性

本人のための教育
→ 一人ひとりの「**学ぶ力**」「**生きる力**」をはぐくむ

就学前教育に関する考え方

「**こころと身体**を子どもの成長に合わせてはぐくむ」をテーマに掲げ、「**就学前教育の充実**」と「**こころと身体のはぐくみ**」を施策方針に位置づけ

(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針

位置づけ

保護者、保育者、地域で就学前教育に関わるすべての人の「**意識の共有と実践**」のためのガイドライン

内容

- (1) **就学前教育の目標、はぐくみの視点、「学ぶ力・生きる力」を培う土台づくり**について、奈良県の考え方や方向性を整理
- (2) 就学前教育の総合的な展開方策を「**奈良っ子はぐくみプロジェクト**」として取りまとめ

策定経過(ワーキンググループによる検討)

【WG開催状況】 第1回(R3.3)、第2回(R3.5)、第3回(R3.8)、第4回(R3.11予定)
【WGメンバー】 人権保育研究会会長、保育協議会副会長、市町村指導主事(幼稚園担当)、市町村指導主事連絡協議会顧問(保育担当)等

策定予定 令和4年3月

2. 基本方針の内容

(1) 目標

ミエリネーションの発達が顕著であり、かつ、**非認知能力**獲得の効果が高い乳幼児期にこそ、子ども一人ひとりの可能性を最大限に広げることができるよう、「**学ぶ力・生きる力**」の土台を築くことが重要

「学ぶ力・生きる力」の3つの土台のはぐくみ
「**自己肯定感・自尊感情**」「**他者への寛容なこころ**」「**健やかな身体**」

(2) はぐくみの視点

- ① 子どもを**権利の主体**として捉え、**子どもの権利を保障**する
- ② 多様な個性を尊重し、「**ともに育ち合う**」**インクルーシブ保育**を実践する
- ③ 社会の大切な一員として「**奈良っ子**」をはぐくむ

(3) 「学ぶ力・生きる力」を培う土台づくり

実践するはぐくみのポイント

3つの土台	はぐくみのポイント
① 自己肯定感・自尊感情	・子どもの存在を愛情豊かに受入れ、信頼感をはぐくむ。 ・子どものやってみたい気持ち、やり遂げたい気持ちを大切に。等
② 他者への寛容なこころ	・友達と交流し、互いの良さや考え方の違いに気づくよう働きかける。 ・大人が自ら他者への思いやりのある行動を行うモデルになる。等
③ 健やかな身体	・子どもが進んで体を動かそうとする意欲をはぐくむ。 ・自然や生き物と触れ合う体験の充実。・食べる喜びを育てる。等

(4) 奈良っ子はぐくみプロジェクト(県の取組)

展開方策

- ① ツール作成・普及
 - ・就学前教育プログラム「はばたけなら」
 - ・「実践事例集」、漫画冊子「はばたきの詩」等
- ② 人材育成
 - ・施設類型を超えた研修
 - ・アドバイザーによる園所の支援 等
- ③ 多様な場での展開
 - ・なら歴史芸術文化村におけるアートプログラム
 - ・まほろば健康パークの機能強化 ・こども食堂 等

重点テーマ

- ① **自然保育**
自然を満喫し、自然に感動する保育
- ② **インクルーシブ保育**
障害がある子どももいない子どもともにはぐくむ
- ③ **食育の推進**
食べる喜び、楽しさを感じる保育